

2017年A B A C第2回ソウル会議ニュースリリース【仮訳】

ソウル

2017年4月28日

「グローバル化の方針を堅持しつつ、よりうまく機能させるべきである。」

とアジア太平洋地域経済界のリーダーたちは主張

「グローバル化の方針を堅持しつつ、よりうまく機能させる」ということが、今週韓国に集結したアジア太平洋地域の経済界リーダーたちからの主要メッセージである。

A P E Cビジネス諮問委員会（A B A C : APEC Business Advisory Council）は、5月にA P E C貿易担当大臣宛てに発出するビジネス上の優先事項に関する提言を準備するために、ソウルにて会合を開いた。その際にA B A C委員たちは、数百万人の人々を貧困から救い、生産性を高め、この地域の力強い成長を生み出すことにより、開かれた貿易がアジア太平洋の地域社会にもたらしてきた著しい恩恵を強調した。

「対照的に保護主義は、雇用、食糧安全保障および生活水準に悪影響を与える。」と2017年A B A C議長のアン・ヴァン・ドゥン氏は述べた。「各国・地域の首脳は、貿易と投資の障壁を作り出す誘惑に強く抵抗する必要がある。」

環太平洋パートナーシップ（T P P : Trans Pacific Partnership）、東アジア地域包括的経済連携（R C E P : Regional Comprehensive Economic Partnership）、太平洋同盟（Pacific Alliance）といった関連する地域協定が、アジア太平洋地域における自由で開かれた貿易に向けたA P E Cボゴール目標の実現に資するというのを、A B A Cは認識している。

「アジア太平洋地域における各経済はいまなおビジネスに開かれている — それはわれわれの地域社会にとって素晴らしいことだ。」とアン氏は加えた。「われわれはT P P参加国がT P Pの義務を履行し、その質の高い成果を保持することを奨励する。それとともに、R C E P参加国には、包括的で、質が高く、互恵的な合意を確保しながら、本年末までに交渉を完了させることを求める。」

アン氏は、貿易が広く雇用の減少や経済の混乱の元凶とされてきたが、ほとんどの場合においては技術の進歩をはじめとする他の要素の方がはるかに大きな影響を与えていることに言及した。

しかしながら他方で、労働者や企業が新しい経済状況に適応しようとする際の潜在的な課題についても、A B A Cは認識している。「包括的で持続可能な成長というわれわれの

ビジョンを実現するには、課題に対応するためにもっと多くのことをする必要がある。」とホアン氏は強調した。

「この取り組みにあたって、政府と経済界とはそれぞれ固有かつ補完的な役割を持つ。われわれは互いに協力して、さらなる貿易自由化のメリットを上手に説明することが可能であるし、説明しなければならない。」と彼は力説した。

「だが、これはただより上手に話を語るだけにとどまるものではない。われわれは、グローバル化の恩恵がより広く共有されることを保証しなければならない。われわれの地域社会も、経済改革・構造改革、教育、技能研修や社会的セーフティー・ネットを通して、労働者が適応することを支援するために適切に策定された国内政策を必要とする。」

貿易担当大臣に対するA B A Cの提言は、サービス貿易の自由化および拡大と、物品の貿易における非関税障壁の削減の利点に焦点を当てている。そこではまた、WTOの中央性と、アジア太平洋自由貿易圏（F T A A P : Free Trade Area of the Asia-Pacific）を含む野心的で包括的な貿易協定の価値が強調されている。さらに、より強靱なサプライチェーンによって、デジタル経済の大きな可能性が十分に実現されることをA B A Cは指摘する。最後にA B A Cは、小規模企業や女性がより容易にグローバル市場に参画することを可能とする包摂的な政策の必要性を強調する。

「今は、貿易の自由化にとっては困難な時期である。」とホアン氏は述べた。「しかし、われわれは、自分たちの根幹的価値観やA P E C参加国・地域の大志を放棄してはならない。今こそ、勇気を持ち地域経済統合を推進する時である。そうすることによってのみ、われわれはより安定し、包摂的で、平和かつ豊かな世界経済を実現することができる。」と彼は結んだ。